

革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）平成29年度評価結果の概要

研究計画名	研究代表機関名	評価結果の概要
1. 水田作分野		
・第1回公募採択		
山田錦レベルの優れた適性を有する酒米新品種と革新的栽培・醸造技術の活用による日本酒輸出倍増戦略	兵庫県立農林水産技術総合センター	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
革新的醸造技術を用いた新しいSakeによる日本酒輸出の産業化	新潟薬科大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
南九州地域に適した焼酎麹用米専用品種の普及及び省力・低コスト栽培技術の確立	宮崎県総合農業試験場	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
農匠稲作経営技術パッケージを活用したスマート水田農業モデルの全国実証と農匠プラットフォーム構築	九州大学大学院農学研究大学院	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
近赤外分析による『大麦の品質ぶれ』解消技術の開発普及	農研機構次世代作物開発研究センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
米の新規需要拡大のための輸出を目指した湿熱処理技術による保存性と生理的機能性の優れた玄米米粉開発	長岡工業高等専門学校	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
畦畔管理を含めた中山間水田農業の省力・低コスト体系の実証	長野県農業試験場	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
大規模水稻経営体の収益向上のための実証研究	石川県農林総合研究センター農業試験場	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
・第2回公募採択		
売れる麦を核とする中山間水田輪作体系における収益力強化と省力化の実証	山口大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
GNSS汎用利用による近未来型環境保全水田営農技術の実証研究	秋田県立大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
除草ロボット導入による省力的水稻有機栽培の実証	新潟県農業総合研究所	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。

研究計画名	研究代表機関名	評価結果の概要
福島農業再生のための水稲直播栽培による超多収／高バイオマス品種とバイオ肥料を活用した飼料用米の低コスト高収益生産技術実証研究	東京農工大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
2. 畑作・地域作物		
・第1回公募採択		
湛水栽培法によるサトイモの優良種いも増殖および生産性向上	鹿児島大学	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
線虫防除機能を有する革新的緑肥技術の開発によるサトウキビの連作障害回避と増産	東京農工大学農学研究院	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
気象災害に強く安定多収なサトウキビ適正品種の導入と省力低コスト生産技術体系の確立	鹿児島大学学術研究院農水産獣医学域農学系	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
一番茶の海外輸出を可能とする病害虫防除体系の構築と実証	農研機構果樹茶業研究部門	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
南九州における普及促進のためのかんしょ小苗栽培体系とかんしょ・飼料作物混植によるかんしょ茎葉飼料化の実証	農研機構九州沖縄農業研究センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
落花生の作付け拡大を支援する新体系機械化技術の構築と実証	千葉県農林総合研究センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
組換えシルクの実用生産と高付加価値製品の開発	農研機構生物機能利用研究部門	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
・第2回公募採択		
農業IoTによる県特産野菜「サトイモ」の高品質安定多収技術の確立と地域への展開	東京農工大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
水田農業の収益向上のための高生産性いぐさ生産体系の確立及び健康機能性商材向け加工・流通技術の確立	熊本県農業研究センターアグリシステム総合研究所	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
土壌病害蔓延防止のための効果的・効率的なてん菜輸送体系の確立	ホクレン農業協同組合連合会	当該年度の目標達成が不十分であり、一層の努力が必要である。

研究計画名	研究代表機関名	評価結果の概要
<p>3. 野菜・花き</p> <p>・第1回公募採択</p>		
施設園芸における高機能性被覆資材の利用技術体系の開発	千葉大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
生果実(いちご)の東南アジア・北米等への輸出を促進するための輸出相手国の残留農薬基準値に対応したIPM体系の開発ならびに現地実証	農研機構野菜花き研究部門	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
種子繁殖型イチゴ品種「よつぼし」の全国展開に向けた省力栽培体系とICTによる生産者ネットワークの確立	三重県農業研究所	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
都市近郊エダマメ栽培体系に適応したダイズシストセンチュウの生物的防除法の開発	東京農工大学大学院農学研究院	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
植木類の輸出における線虫事故を防止する技術の開発及び実証	農研機構中央農業研究センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
広域無線による地域内集合知収集およびビッグデータ解析に基づく産地経営支援システムの開発	西日本電信電話株式会社	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
冬季寡日照地域のイチゴ栽培におけるミツバチの補完ポリネーターとしてのビーフライ(ヒロズキンバエ)の利用	奈良県農業研究開発センター	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
和食ブームを支えるワサビの施設化による超促成・高付加価値生産技術の実証	山口県農林総合技術センター	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
きく類生産・流通イノベーションによる国産シェア奪還	農研機構野菜花き研究部門	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
レタスの市場競争力強化を実現する機械化生産一貫体系構築のための自動収穫ロボットおよび栽培技術の開発	信州大学	当該年度の目標達成が不十分であり、一層の努力が必要である。
UEGS プラットホームで日本型施設園芸が生きるスマート農業の実現	近畿大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
タマネギの大型コンテナを導入した搬送、乾燥、貯蔵体系の確立による生産拡大・輸出戦略	兵庫県立農林水産技術総合センター淡路農業技術センター	当該年度の目標達成が不十分であり、一層の努力が必要である。

研究計画名	研究代表機関名	評価結果の概要
健康の維持増進に有用な機能性成分高含有野菜の栽培実証と機能性表示食品の開発	宮城県農業・園芸総合研究所	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
アスパラガス疫病をはじめとする連作障害の総合的な診断及び対策技術の開発	農研機構中央農業研究センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
日本の伝統花きセンリョウの輸出を見据えた輸送及び病害虫対策技術の確立	茨城県農業総合センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
・第2回公募採択		
自然エネルギー活用型施設園芸によるトマトの収益性向上の実証研究	石川県農林総合研究センター農業試験場	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
西日本のタマネギ産地に深刻な被害を及ぼしているべと病の防除技術の開発と普及	佐賀県農業試験研究センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
簡易施設向けICTシステム利用による地域ブランド野菜産地の強化	京都府農林水産技術センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
イチゴの省エネ栽培・収量予測・低コスト輸送技術の融合による販売力・国際競争力の強化	九州大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
水ナスの低コスト複合環境制御による安定生産の実証	大阪府立環境農林水産総合研究所	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
収穫後品質の向上と機能性を活かした加工品の展開による国産レンコンのブランド力強化プロジェクト	茨城大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
中山間地域振興のための地域特産JAPANブランド花きの輸出拡大を目指す総合生産技術体系の確立	宮崎県総合農業試験場	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
4. 果樹		
・第1回公募採択		
奄美群島に再侵入したミカンコミバエ种群の根絶及び再侵入・定着防止対策のための技術開発と実証	農研機構九州沖縄農業研究センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)

研究計画名	研究代表機関名	評価結果の概要
次世代の果樹栽培法「根圏制御栽培法」導入実践による産地活性化	栃木県農業試験場	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
β -クリプトキサンチンの供給源となる国産カンキツの周年供給技術体系の実証	農研機構九州沖縄農業研究センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
国際競争力強化と輸出拡大のための超大玉オウトウ生産・加工技術開発	山形県農業総合研究センター園芸試験場	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
果物の東アジア、東南アジア輸出を促進するための輸出国ニーズに適合した生産技術開発及び輸出ネットワークの共有による鮮度保持・低コスト流通・輸出技術の実証研究	岡山大学	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
日本ワインの競争力強化に向けたブドウ栽培及びワイン醸造技術の実証研究	酒類総合研究所	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
モモ・ナシの高品質・安定生産を実現する病害防除技術体系の実証研究	農研機構果樹茶業研究部門	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
モモの検疫検査及び箱詰め作業等の自動化による作業負担と人件費の軽減の実証研究事業	山梨大学	当該年度の目標達成が不十分であり、一層の努力が必要である。
特長ある品種ラインアップによるウメ需要拡大と生産者の所得向上	和歌山県果樹試験場うめ研究所	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
農産物輸出拡大にむけた産地広域連携モデルの構築と混載輸送用コンテナの開発および革新的輸送用ケース・鮮度保持技術を組合せた大量輸送グローバルコールドチェーンの確立	農研機構食農ビジネス推進センター	当該年度の目標達成が不十分であり、一層の努力が必要である。
アボカド、パッションフルーツなど亜熱帯果樹における国産化可能性の分析と栽培技術の開発	農研機構果樹茶業研究部門	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
輸出に向けたSCS(スーパークーリングシステム)によるカキ‘西条’の長期貯蔵法の開発	島根大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
・第2回公募採択		
近赤外光照射等を利用した高知県産ユズの輸出拡大および主要園芸野菜の革新的品質向上体系の開発	高知県農業技術センター	当該年度の目標達成が不十分であり、一層の努力が必要である。

研究計画名	研究代表機関名	評価結果の概要
野生種遺伝資源を利用したキウイフルーツPsa3系統耐病性付加による競争力強化戦略	香川大学	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
5. 畜産		
・第1回公募採択		
鳥インフルエンザウイルスの農場への侵入を早急・簡便に検出可能な技術の開発	農研機構動物衛生研究部門	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
豚枝肉残毛自動脱毛機の開発	食肉生産技術研究組合	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
豚舎用日本型洗浄ロボットを中核とした省力的な衛生管理システムの開発	農研機構農業技術革新工学研究センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
自給飼料を活用した豚肉・鶏肉・鶏卵の差別化技術および低コスト生産技術の開発	農研機構畜産研究部門	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
牛の放牧管理の効率化・生産性向上のための小型ピロプラズマ病ワクチンの実証研究	帯広畜産大学原虫病研究センター	当該年度の目標達成が不十分であり、一層の努力が必要である。
国際化の進展に対応した国産鶏種(卵用鶏)の開発及び普及促進	家畜改良センター岡崎牧場	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
ファインバブル等による畜産廃棄物の悪臭対策と耕畜連携システムの構築	鹿児島大学農水産獣医学域農学系	当該年度の目標達成が不十分であり、一層の努力が必要である。
TPPに対応した次世代型畜産経営モデルの実証～大規模集落営農法人とTMRセンター、畜産農家の連携型TMRによる低コスト飼料供給の実証研究	熊本県農業研究センター畜産研究所	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
競争力のある地域内一貫牛肉生産を実現する哺育・肥育・流通体系の開発	鹿児島大学学術研究院農水産獣医学域獣医学系	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
耕畜連携の強化による飼料コスト低減化技術の現地実証	農研機構東北農業研究センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
西南暖地における次世代型酪農実現に向けた飼養管理体系の実証～ロボット搾乳に最適な飼料給与体系と生涯生産性を向上させる飼養管理体制の構築～	鹿児島大学 農水産獣医学域獣医学系	当該年度の目標達成が不十分であり、一層の努力が必要である。

研究計画名	研究代表機関名	評価結果の概要
「医福食農連携」による鹿児島県産農畜水産物等の消費拡大に向けた高付加価値食品の開発	鹿児島大学農学部生物資源化学科	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
超低温保存胚の子宮体部非外科的移植を利用した生産農家への低リスク低コストな高能力種豚導入実証	家畜改良センター	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
グローバル化に対応したTMR センターを核とする地域畜産経営体の確立	宮崎県畜産試験場酪農飼料部	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
・ 第2回公募採択		
牛難治性疾病に対する疾病横断的予防・治療法創出の実証研究	北海道大学大学院獣医学研究院	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
牛白血病ウイルス抵抗性・感受性牛の識別による革新的地方病性牛白血病制圧戦略の実証研究	理化学研究所	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
酪農生産基盤強化に向けた個別別哺乳ロボットと飼養管理データの高度活用による乳用子牛等の精密哺乳・哺育システムの開発・普及	東京理科大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
ゲノム育種法によって作出される地鶏の食味性および増体性の改良効果の実証研究	秋田県畜産試験場	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
畜舎内環境管理と悪臭対策技術確立による養豚生産性向上	産業技術総合研究所	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
新たな細胞保護技術の活用と高付加価値・優良産子の増殖による肉用牛・乳用牛生産基盤強化	鹿児島大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
新規な哺乳ロボットとセンサー・IoTを活用した和牛子牛の革新的生産技術開発	鹿児島大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。（標準）
人工知能ロボットを活用したブロイラー養鶏飼養衛生管理システムの開発	鹿児島大学共同獣医学部	当該年度の目標達成が不十分であり、一層の努力が必要である。

研究計画名	研究代表機関名	評価結果の概要
6. 林業		
・ 第1回公募採択		
優良苗の安定供給と下刈り省力化による一貫作業システム体系の開発	森林研究・整備機構森林総合研究所	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
北海道産カラマツによる外材製品に対抗可能な高強度積層材の生産システムの実証	北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
無人走行フォワーダによる集材作業の自動化に関する実証研究	森林研究・整備機構森林総合研究所	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
カラマツ種苗の安定供給のための技術開発	森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
ICTを活用した木材SCMシステムの構築	東京大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
・ 第2回公募採択		
レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発	信州大学先鋭領域融合研究群山岳科学研究所	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
無人航空機による森林病虫害防除システムの実用化	静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
7. 鳥獣害		
・ 第1回公募採択		
ICTを用いた総合的技術による、農と林が連動した持続的獣害対策体系の確立	兵庫県立大学自然・環境科学研究所	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
・ 第2回公募採択		
ドローン活用による鳥獣被害対策技術の開発と実証	徳島県農林水産総合技術支援センター	当該年度の目標達成が不十分であり、一層の努力が必要である。

研究計画名	研究代表機関名	評価結果の概要
ドローン、赤外線サーモカメラ、軽量望遠分光カメラ及び画像解析を利用した野生鳥獣の生息状況把握手法の開発並びに超音波センサーを利用した被害防止方策の実証研究	株式会社プラントライフシステムズ	当該年度の目標達成が不十分であり、一層の努力が必要である。
8. 水産業		
・第1回公募採択		
養殖ブリの輸出を促進するための人工種苗生産技術高度化及び高品質冷凍流通技術体系の開発	鹿児島大学	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
水産物エコラベルの整備を通じた輸出の促進	東京大学大学院農学生命科学研究科	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
低価格な養殖ノリの利用拡大によるノリ養殖の競争強化	水産研究・教育機構中央水産研究所	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
輸出拡大のために、生鮮から冷凍まで対応できる養殖魚の生鮮度保持処理技術の開発	マリノフォーラム21	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
ドローンを利用した高効率漁場探索システムの開発	海洋水産システム協会研究開発部	当該年度の目標達成が不十分であり、一層の努力が必要である。
北海道産サケ・サクラマス防疫強化のための大規模洗卵システムの開発	北海道立総合研究機構水産研究本部さけます・内水面水産試験場	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
定置網漁獲物のシームレスなスーパーチリング高鮮度流通体系の構築・実証と各種漁業への展開	函館地域産業振興財団	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
離島漁業振興のためのスマートフィッシャリーズシステムの開発	水産研究・教育機構西海区研究所	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
地域重要魚種の増養殖に関する低コスト化に係わる生産体系の確立	全国豊かな海づくり推進協会	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
国際的養殖拠点の構築を目指した海面養殖トラウト一貫生産技術体系の確立	福井中央魚市株式会社	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
二枚貝養殖の安定化と生産拡大の技術開発	水産研究・教育機構日本海区水産研究所	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。

研究計画名	研究代表機関名	評価結果の概要
効率的で頑健な地まきホタテガイ漁業を支える海底可視化技術開発	北海道立総合研究機構水産研究本部網走水産試験場	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
北日本食の成長戦略による青森県水産物の高機能ブランド化と輸出促進に資する実証研究開発	弘前大学食料科学研究所	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
・ 第2回公募採択		
ICTとリモートモニタリングシステムを用いた高効率・安定的なホタテガイ養殖方法の開発	東京海洋大学	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
ICTを活用した効率的な養殖管理システム導入によるブリ養殖の品質向上と経営改善の実証研究	水産研究・教育機構中央水産研究所	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
新規マグロ類「スマ」の育種・完全養殖生産システムによる新産業創出と拡大	愛媛大学	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
純国産真珠を支える真珠母貝の安定的生産技術体系の確立	愛媛大学南予水産研究センター	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
下関の「ふく」の差別化と輸出拡大のためのIT利用「めきき」技術の開発	水産研究・教育機構水産大学校	当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。(標準)
血合肉すり身化技術による海外向け和食ヘルスケア食品の開発	水産研究・教育機構水産大学校	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。
米中心飼料による純国産ギンザケ養殖技術開発と凍結・解凍技術の革新による輸出の拡大	東北大学大学院農学研究科	当該年度の目標を達成し、良好な成果が得られた。